

<性の平等に関する委員会 公開学習会>

行きたい学校に入学したい！

～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～

一部の中学、高校の教科書にセクシュアル・マイノリティの記述が入る等、現在の学生たちにとってSOGIの問題がより身近になり、大学入学時点で性別違和を打ち明ける学生も増えてきました。

多くの大学でSOGIを含めたダイバーシティ&インクルージョンが掲げられていますが、学内全体のインクルージョンの実現には苦難もあります。

トランスジェンダーの学生を大学で受け入れるにはどのようにすればよいのでしょうか。

大学として基本方針はどう策定すべきか。性自認というプライバシー性の高い重要情報を、どう受け止め、共有し、又、秘密保持するか。個別対応にどのような工夫をしているか。

トランスジェンダー学生にかかるガイドラインを制定した共学の大学、トランスジェンダー女性の受け入れを表明した女子大学、そしてトランスジェンダー当事者の方にご登壇いただき、チャットで参加者の質問も取り上げながら、トランスジェンダー学生の受け入れについて、パネルディスカッションを通じて考えます。

小山 聡子 氏	河野 禎之 氏	時枝 穂 氏
		
<p>障害児者施設での支援実践を経て1996年より日本女子大学人間社会学部社会福祉学科に勤務。2017年度よりトランスジェンダー女性の受け入れをめぐる学内の議論をけん引し、2024年度入学者からの出願資格拡大決定に寄与する。2018年度よりダイバーシティ委員会委員長。学外では障害者虐待防止学会理事長を務める。</p>	<p>筑波大学人間系助教／臨床心理士／公認心理師。博士（障害科学）。「多様性社会」の実現に向けてダイバーシティ&インクルージョンを研究領域とし、特に「LGBTQ」等の性的マイノリティに関するテーマと、「認知症」と地域共生社会に関するテーマを専門とする。「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」策定を担った。University Diversity Alliance発起人／事務局担当。</p>	<p>大阪生まれ。東京都北区において多様性社会の実現にむけた市民団体を立ち上げ、パートナーシップ制度や、同性婚（結婚の平等）のロビイングなどに関わる。トランスジェンダー当事者として、LGBTQ/SOGIに関する講演、プライドハウス東京、Marriage For All Japan 等のメンバーとして幅広く活動を行う。</p>

2023年3月10日(金) 18:00～20:30(オンライン開催)

参加費 無料

どなたでも
参加可能

お申し込みは
3月7日まで

アーカイブは残りません。お申し込みは表面の二次元バーコードから！（視聴環境によってはご覧いただけない場合がございます。録音録画はご遠慮ください。）

<問合せ先> 東京弁護士会 人権課 東京都千代田区霞が関1-1-3 TEL:03-3581-2205